

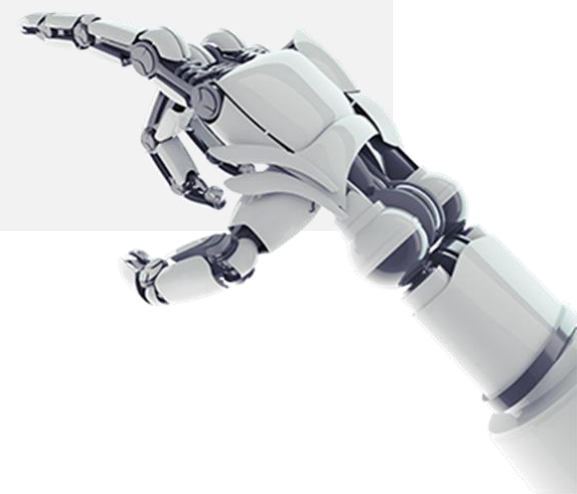
2020年2月期 第1四半期 決算説明資料

R P A ホールディングス株式会社
(コード番号：6572 東証第一部)



目次

- | | | |
|----|-----------|------|
| 01 | 会社概要 | P.2 |
| 02 | 連結業績ハイライト | P.10 |
| 03 | 成長戦略 | P.19 |



01会社概要

人とロボットが協調して働く新しい社会を創る ロボットトランスフォーメーションにより産業を再定義する



インターネット以前

FY1998

インターネット (ブロードバンド) トランスフォーメーション

証券会社、旅行代理店、
通販、電話 (Skype)、
音楽業界などが再定義

FY2008



モバイル トランスフォーメーション

ゲーム業界 (特にコンソール)、
カーナビ、タクシー、
ホテル、決済などが再定義

FY2018

AI・ロボット トランスフォーメーション

RPAとAIによって、プラットフォームから
コーディネートヘシフトし、あらゆる産業
が再定義される



デジタルイゼーションへのロングジャーニー

会社概要

RPAカンパニーグループ

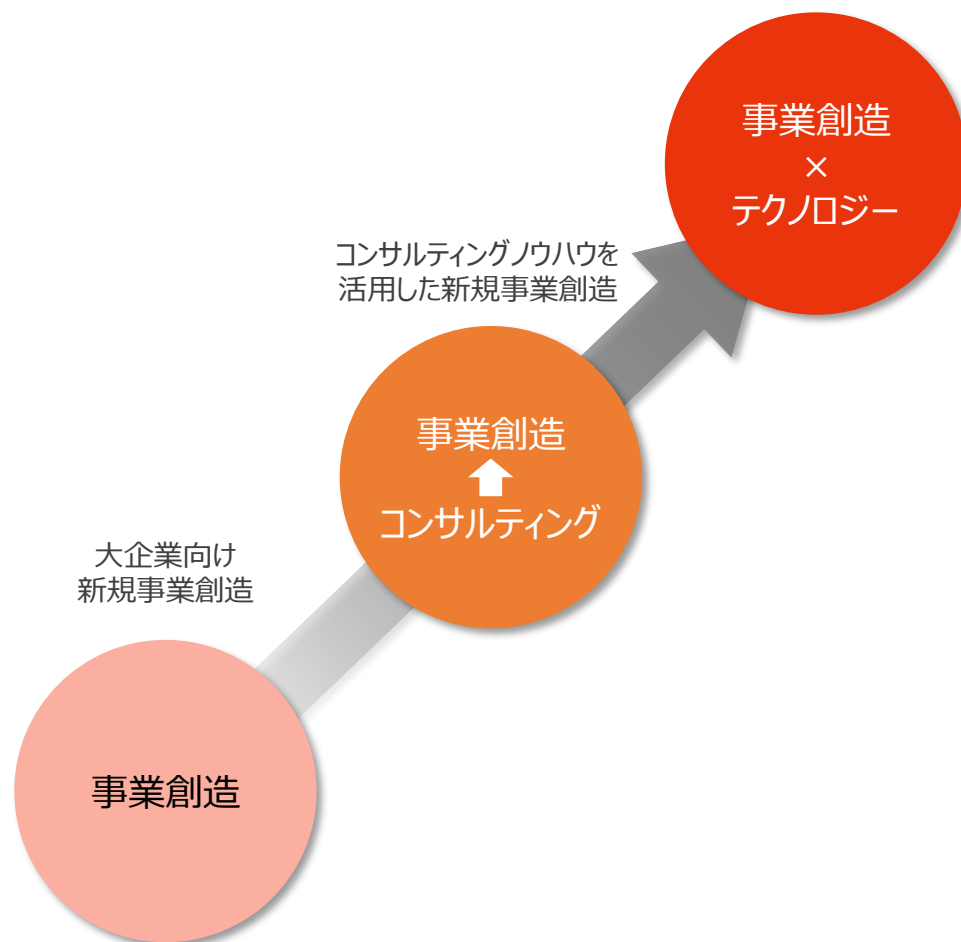
社名	RPAホールディングス株式会社 RPA Holdings, Inc. (英訳名)	
設立	2000年4月	
資本金	5,865,041,555円 (2019年6月30日現在)	
所在地	東京都港区赤坂1-12-32 アーク森ビル13F	
役員	代表取締役	高橋 知道
	取締役	大角 暢之
	取締役	松井 哲史
	取締役 (監査等委員)	西木 隆
	取締役 (監査等委員)	羽入 敏祐
	取締役 (監査等委員)	永井 栄一
	取締役 (監査等委員)	高橋 秀明
	取締役 (監査等委員)	増田 吉彦
事業内容	純粋持ち株会社	
グループ会社	RPAテクノロジーズ株式会社 RPAエンジニアリング株式会社 株式会社セグメント オープンアソシエイツ株式会社 リーガル株式会社 株式会社ディレクト	

ミッション

RPA
HOLDINGS

知恵とテクノロジーで新しい事業を創造する

テクノロジー = RPAという
武器を活用した事業創造



「RPA」中心の事業構造

ロボットアウトソーシング事業

- 金融、製造など幅広い業界の企業に、主力製品であるデジタルレイバー作成プラットフォーム「BizRobo!」等のRPAソリューションを提供、国内RPA分野のリーディングカンパニーとして認知

ロボットランスフォーメーション事業

- 旧「アドネットワーク事業」。ロボットランスフォーメーションにより既存産業の再定義を図る
- PRESCO事業の運営及び、広告領域におけるデジタルレイバーサービスを展開

- コンサルティング事業
- セールスアウトソーシング事業

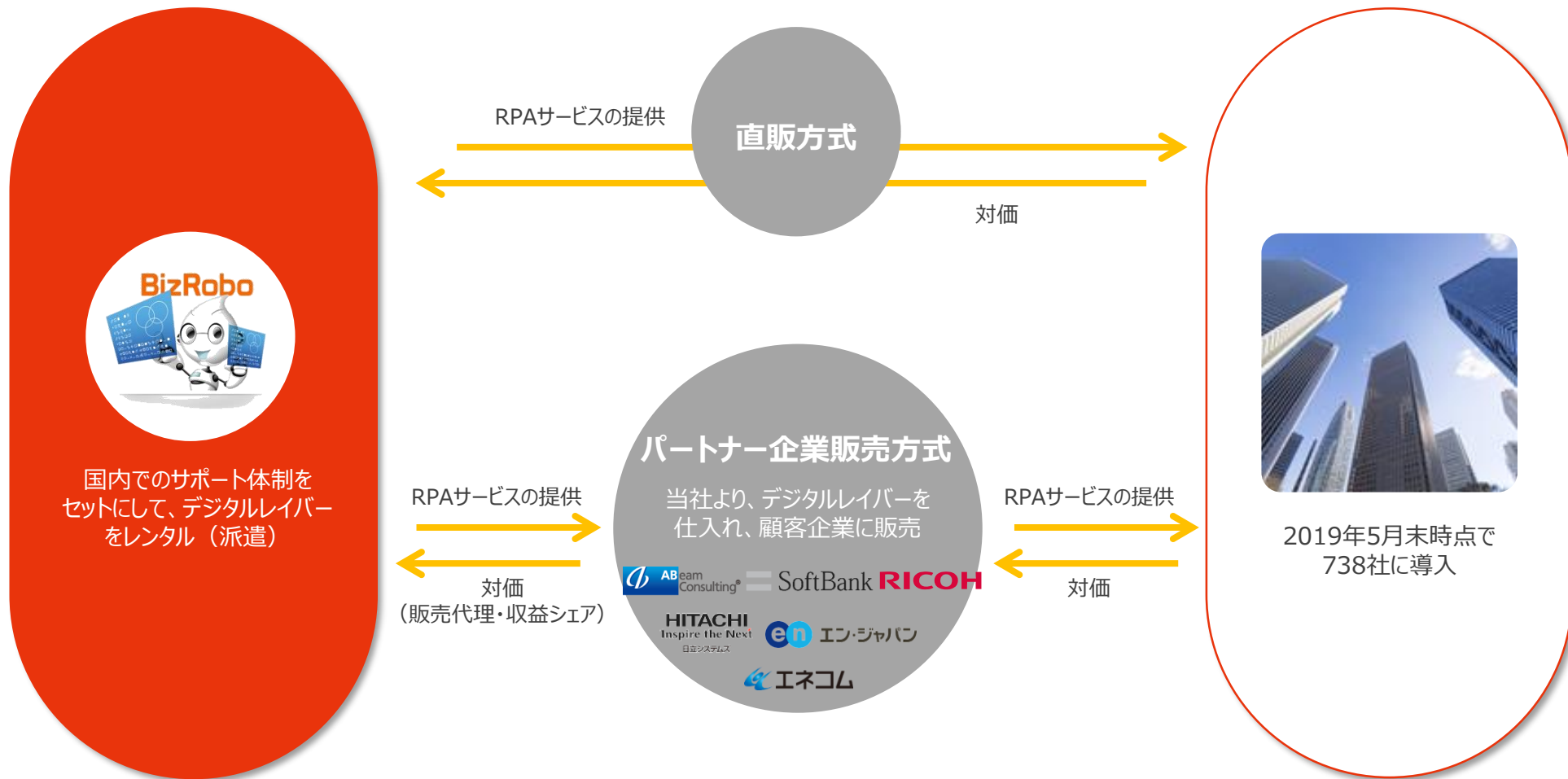
その他事業

ロボットアウトソーシング事業概要

- 様々なRPAソフトウェアベンダーより、ソフトウェアライセンスを仕入れ、直販及びパートナー企業による販売方式によりRPAを導入
- きめ細かなサポートを求めるニーズが強い日本の顧客企業に合わせた国内でのサポート体制を提供

当社グループ

顧客企業



ロボットトランスフォーメーション事業概要①

- ロボットトランスフォーメーションにより全く新しい顧客体験を提供
- アドネットワーク事業からロボットトランスフォーメーション事業へ名称変更

既存産業



RPA・AIによる産業の再定義



- ロボットトランスフォーメーションを実現するための強力なツールを自社で保有し、独自の метод論と合わせて様々なパートナーと協業することで、あらゆる産業の再定義を図る

RPA及びノウハウの提供

ビズロボ



リサーチ、レポート作成、簡易分析、
その他バックオフィス業務を自動化

コグニティブ及びノウハウの提供

スキャンロボ



非構造化データ（手書き書類など）
を構造化データへ

AI及びノウハウの提供

AIROボ



コーディネーション（提案、リアル
タイムプライシングなど）

- ✓ 時間がかかる非生産的なルーチン業務から人間を開放
- ✓ より付加価値の高い業務に時間を割くことが可能に

- ✓ 手書き文字の読み取りや認証（顔など）を自動化。人間しかできなかった判断を自動化することでより一層の効率化を実現

- ✓ 大量の選択肢の中から、リアルタイムで最適な選択肢を提案しコーディネート可能

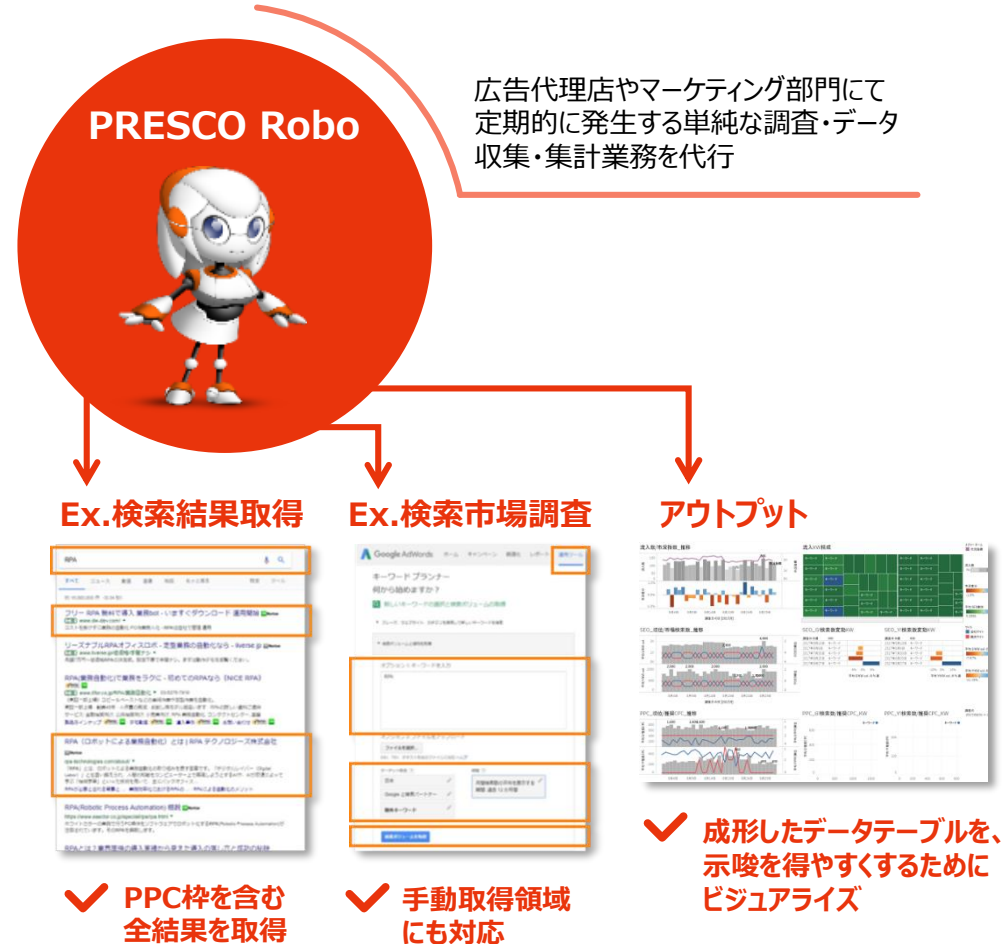
- ロボットトランスフォーメーション事業における最初の領域。成果報酬型プロモーション（アフィリエイト）を軸としたサービスを展開
- オンライン広告業界を対象に、データ収集・集計・レポート業務の代行する「PRESCO Robo」のサービスを展開
- 前期までは医療系人材領域に特化し、徹底的なロボット化を推進。今期よりロボット化したサービスを他領域にも展開開始

01 ワンストップサービスの提供

アフィリエイトサービスと合わせて、LP企画制作、マーケティングレポート分析、SEM等、アフィリエイトサービスに付随するサービスをワンストップで提供

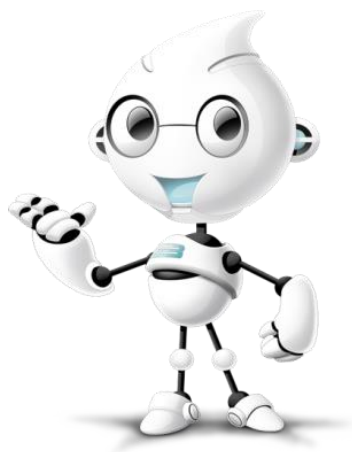
02 強力なネットワークの活用

アフィリエイト法人、一般ブロガー、有名アフェリエーターとの強固なネットワークを保有しており、幅広いネットワークと連携した新たな媒体開発の提案も可能



02連結業績ハイライト

ロボットアウトソーシング事業



- パートナー販売を通じて導入社数が順調に増加
- BizRobo! miniで中小企業での導入も拡大

ロボットトランスフォーメーション事業



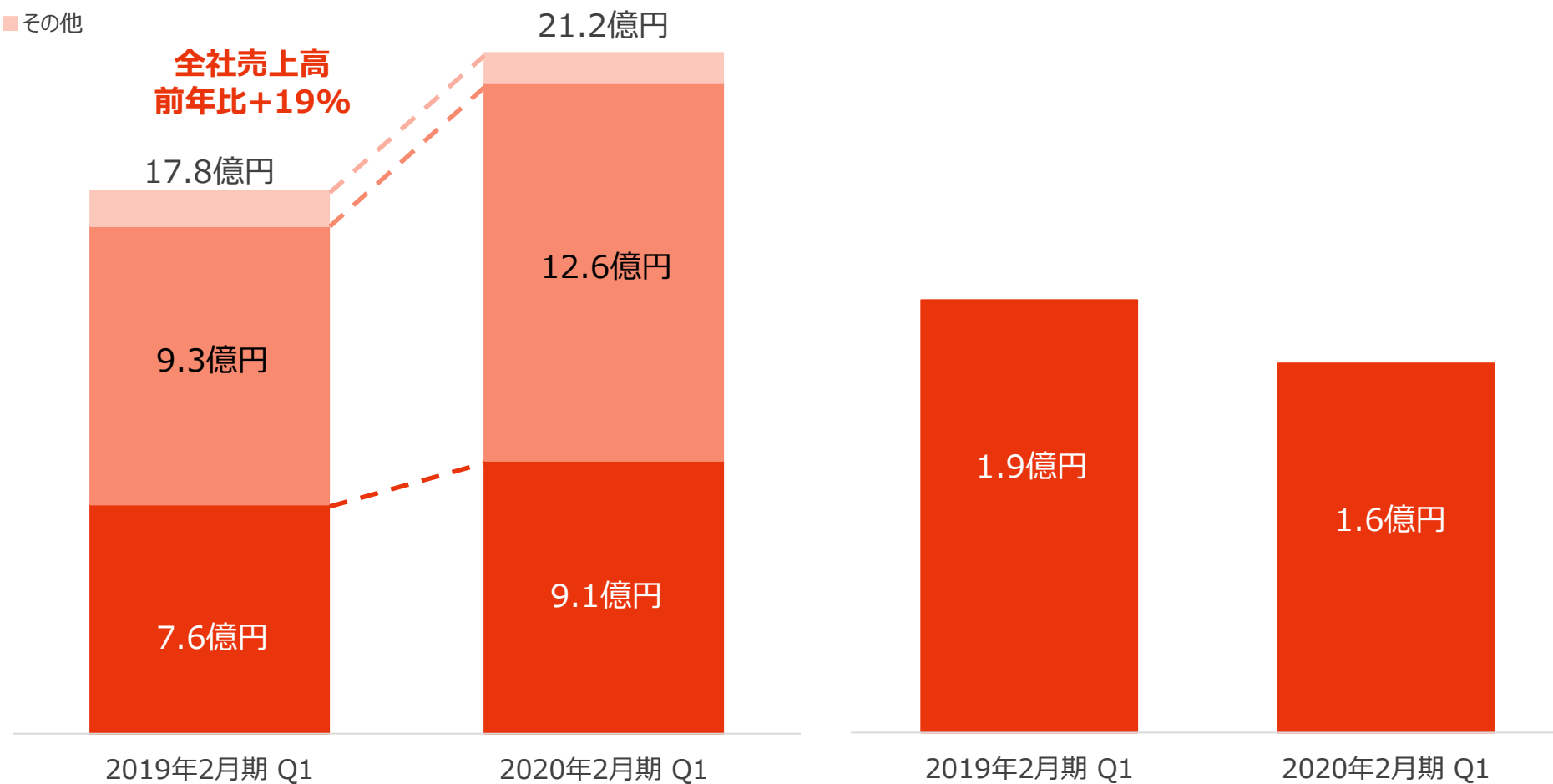
- 人材サービス分野、新規参入分野ともに順調
- 新規分野への参入によりさらに拡大

連結業績ハイライト②

■ 両事業共に売上は順調に伸長。ロボットアウトソーシング事業における人材採用、事業開発等の先行投資に加え、RPAサービスの導入裾野拡大を企図したBizRobo!mini導入により、利益水準は低下したものの、引き続き堅調に推移

- ロボットアウトソーシング事業
- ロボットトランスフォーメーション事業
- その他

■ 営業利益

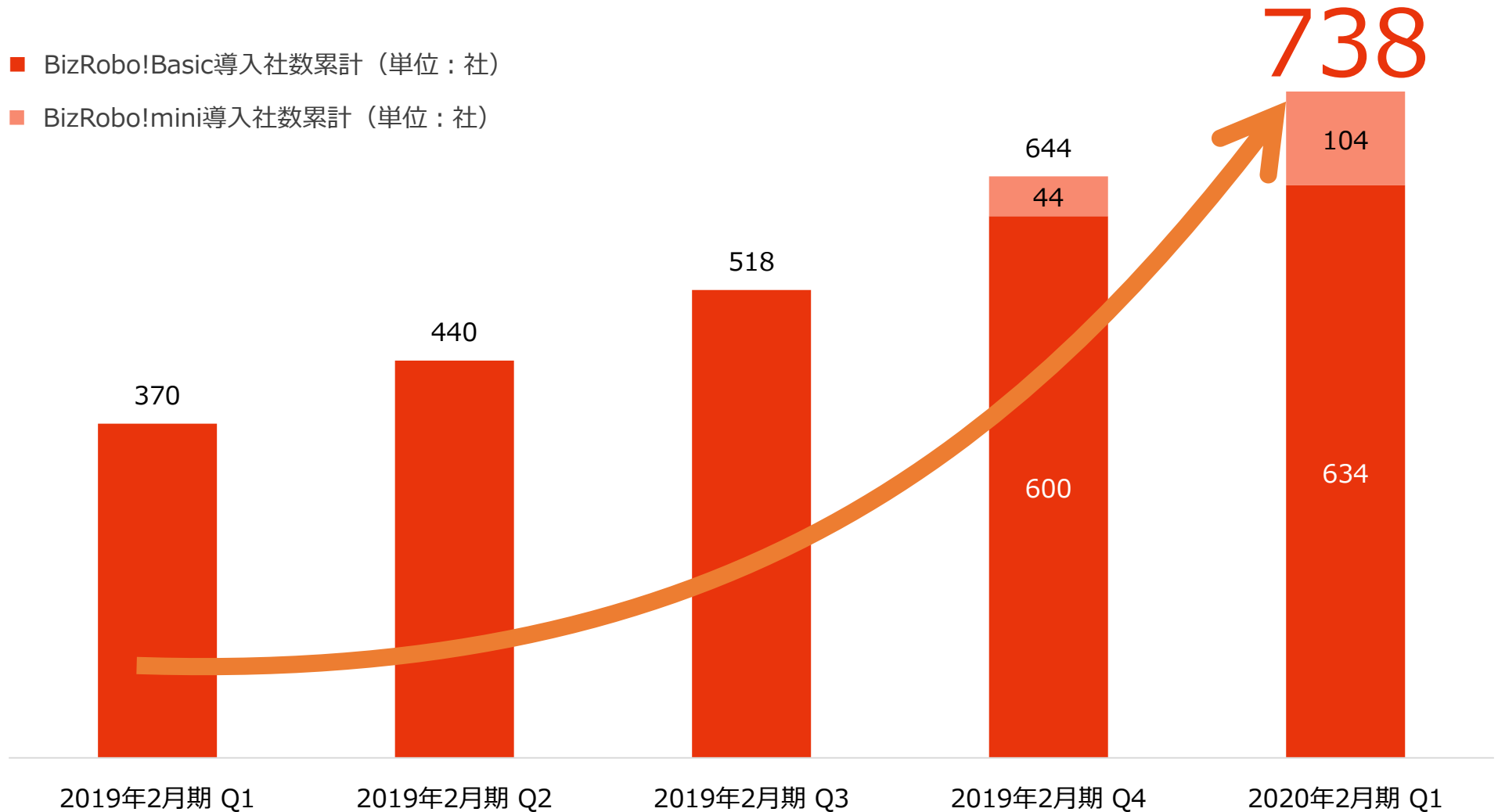




ロボットアウトソーシング事業ハイライト

ロボットアウトソーシング事業ハイライト①

- 直接販売、パートナー販売を通じて急速に導入社数を伸ばし、2019年5月末時点で累計738社の企業に導入

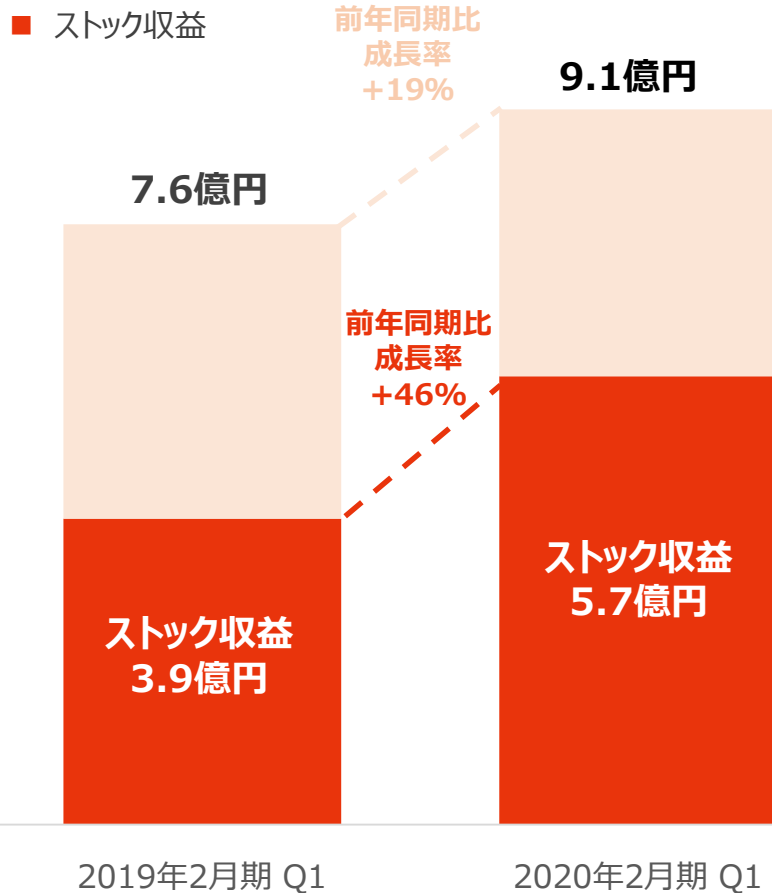


ロボットアウトソーシング事業ハイライト②

- 前年同期比19%と売上高は順調に伸長。特に、ストック収入の伸長により安定的な売上基盤を構成
- セグメント利益については、売上成長の加速を企図した先行投資と導入裾野拡大を企図したBizRobo!mini導入により減益

ロボットアウトソーシング事業売上高

ロボットアウトソーシング事業セグメント利益



- 売上成長の加速を企図した人材採用、事業開発等の先行投資に加え、RPAサービスの導入裾野拡大を企図したエントリーパッケージであるBizRobo!mini導入により利益水準は低下
- 今後、安定したストック収入を背景とした売上高の堅調な伸び、及びBizRobo!miniからのアップセルの拡大を通じた、利益の積み上げを企図

注:

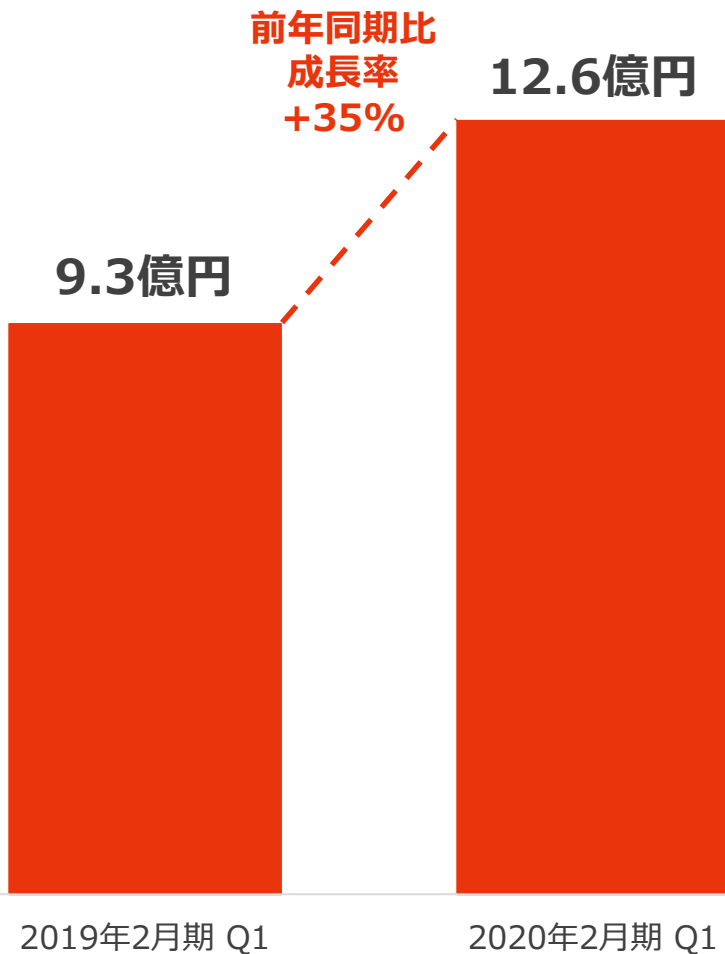
1.ストック収益は、BizRobo!Basic、BizRobo!mini等のライセンス売上及びその他関連サービス（保守等）売上の合計

ロボットトランスフォーメーション事業ハイライト

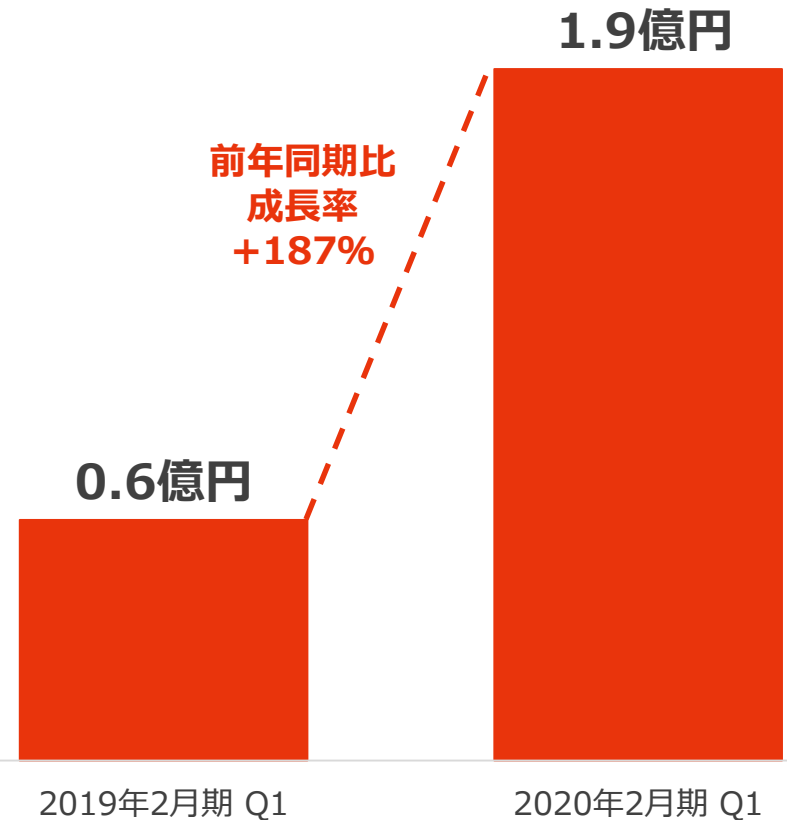
ロボットトランスフォーメーション事業 ハイライト①

- 前年同期比35%増と売上高は順調に拡大
- 売上の拡大に伴いセグメント利益も大幅に伸長

ロボットトランスフォーメーション事業売上高

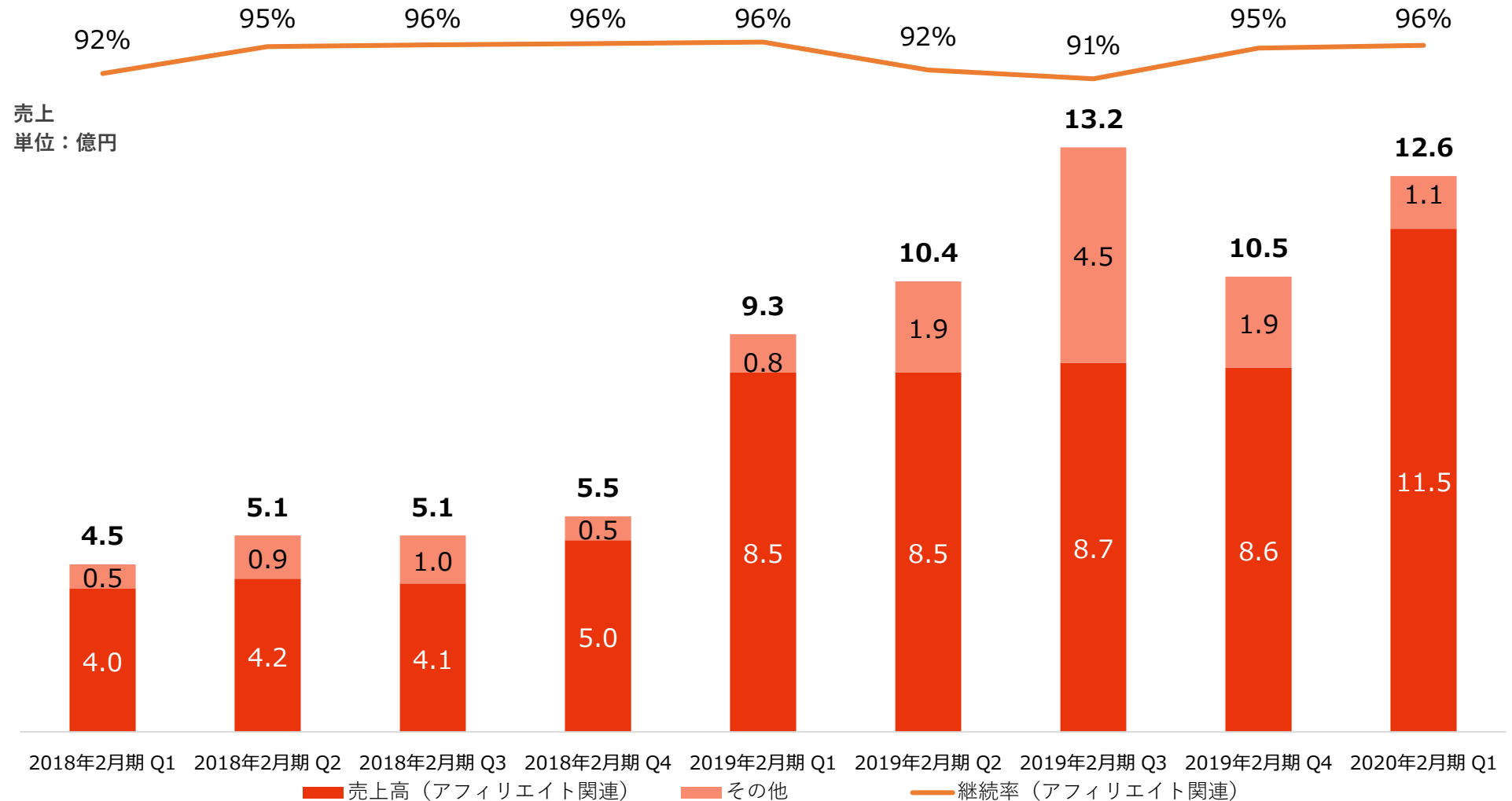


ロボットトランスフォーメーション事業セグメント利益



ロボットトランスフォーメーション事業 ハイライト②

■ ロボットトランスフォーメーション事業における広告主の継続率は安定して90%程度を維持



注:

1. 継続率とは、前四半期末の広告主数に対して、当四半期において広告におけるクリックが1件以上発生した広告主の割合